

視点(1522)

## シニアマーケットの今後とSCづくり (その3) !!

(流通とSC・私の視点 1521 より続く)

### 3. シニアマーケットの近未来の規模

マダガスカル島の猿は「毒のある植物を食べ物とする究極のマーケットの創出ノウハウ」を確立（進化）しました。

シニアマーケットは「毒はあるが、近未来にとって巨大なマーケット」を形成するSCにとって魅力的なマーケットです。ただ、SCが従来の概念でシニアマーケットを取り込むと失敗する危険性があります。それゆえに、シニアマーケットを毒のあるマーケット（食べ物）と定義づけています。

このシニアマーケットの毒消しノウハウは後で述べますが、ここで近未来のシニアマーケットのマーケット規模を示します。

日本の人口動態は少子高齢化により近未来（2020年・2030年）は次のようなことが想定されます。

- ①人口は2020年には122,735千人、2030年には115,224千人となります。この結果、2030年は今より11,952千人の減少となります。
- ②生産年齢人口は1995年の87,260千人をピークに、2020年には73,635千人、2030年には67,404千人となり、2030年には今より13,881千人減少します。
- ③高齢者人口（65歳以上）は2020年には35,899千人（全人口比29.2%）、2030年には36,670千人（全人口比31.8%）となり、2030年には今より7,258千人増加します。
- ④若年者人口（14歳以下）は2020年に13,201千人が2030年には11,150千人となり、2030年には今より5,329千人減少します。

このように、少子高齢化によりシニア人口は増大し、現役世代人口は増大する成熟社会に世界で初めて突入します。

弊社が定義するシニアマーケット（55歳～84歳以下）の2010年・2020年・2030年の推定は次の通りです。

		年 齢	実 数	割 合	
				シニア層	全人口
2010年	ヤングシニア層	55～64歳	20,254千人	40.8%	39.1%
	アダルトシニア層	65～74歳	15,192千人	30.6%	
	マチュアシニア層	75～84歳	10,318千人	20.8%	
	シルバーシニア層	85歳以上	3,905千人	7.8%	
	合 計		49,669千人	100.0%	—
2020年	ヤングシニア層	55～64歳	15,079千人	29.6%	41.5%
	アダルトシニア層	65～74歳	17,163千人	33.7%	
	マチュアシニア層	75～84歳	12,314千人	24.2%	
	シルバーシニア層	85歳以上	6,423千人	12.5%	
	合 計		50,979千人	100.0%	—
2030年	ヤングシニア層	55～64歳	17,523千人	32.3%	47.0%
	アダルトシニア層	65～74歳	14,011千人	25.9%	
	マチュアシニア層	75～84歳	14,171千人	26.1%	
	シルバーシニア層	85歳以上	8,488千人	15.7%	
	合 計		54,193千人	100.0%	—

(流通とSC・私の視点 1523 へ続く)

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>+</sup>  
代 表 六 車 秀 之